

かさま 社協だより

No.20



編集・発行 2013.3.29

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730

E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



アイマスク体験（福祉サービスチャレンジ教室にて）

撮影 横堀

も く じ

- ① 第4回笠間市社会福祉大会 2～3
- ② 住みよいまちづくりを目指して 4～5
ボランティアのできること
- ③ 支所だより 6～7
- ④ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

会福祉大会

去る3月10日、笠間公民館の大ホールにおいて福祉活動にたずさわる人々が集い、第4回笠間市福祉大会が開催されました。今回は34人・7団体が笠間市社会福祉協議会会長より表彰され、6人6団体に對し感謝状が贈られました。続いて「支えあってまちづくり」と題して、歌手・元NHKアナウンサーの吉川精一氏の記念講演があり最後に野村利さんの大会宣言で閉会しました。

笠間市社会福祉協議会 会長表彰

民生委員・児童委員

鈴木忠夫	(笠間地区)	須釜良江	(友部地区)
稲川悦子	(笠間地区)	海藤清治	(評議員)
仲田正	(笠間地区)	藤井敬一	(評議員)
海老澤勉	(友部地区)	海老澤淳一	(こうゆう会)
藤田嘉昭	(友部地区)	山本淳一	(こうゆう会)
海老澤淳子	(友部地区)	船橋能行	(六戸支部)
遠藤健次	(友部地区)	寺内寛	(六戸支部)
菊池美智子	(友部地区)	松田良一	(東支部)
加賀屋勇次	(友部地区)	平本増治	(東支部)
塩崎祥江	(友部地区)	鶴田浩一	(中央支部)
上野洋	(友部地区)	山本千代子	(中央支部)
佐藤肇	(岩間地区)	園部昭徳	(大旭支部)
小菅君枝	(岩間地区)	柳原法子	(大旭支部)
南指原淑子	(岩間地区)	渡辺米子	(大旭支部)
岡野博之	(岩間地区)	中村晃	(大原支部)
岡野トク子	(岩間地区)		
宮本やす子	(岩間地区)		
川崎史子	(岩間地区)		



みんなで唱和した大会宣言

社会福祉団体の役員

社会福祉法人自立奉仕会茨城福祉工場

小野瀬 正彦

在宅介護の会

須釜良江 (友部地区)

ボランティア

笠間ふれあい電話 (笠間地区)
歌謡Vハーモニー&大正琴アンサンブル (友部地区)

ハーモニーせせらぎ (友部地区)

支部役員・評議員

要約筆記サークル「若葉」	(友部地区)	江田洋子	(友部地区)
ともべマジック遊友	(友部地区)	河本昭三	(友部地区)
レクリエーションいわま	(岩間地区)	野口貢	(友部地区)
夢工房 いわま	(岩間地区)	白土秀	(友部地区)
		白土秀	(友部地区)
		堀川玉枝	(友部地区)
		美留町 文男	(岩間地区)
		茨城トヨタ自動車株式会社	(友部地区)
		笠間市チャリティゴルフ実行委員会	(友部地区)
		旧笠間町民生委員・児童委員協議会OB会	(岩間地区)
		スナックオクタヴ	(友部地区)
		イオンフードサプライ株式会社	(友部地区)
		水戸ヤクルト販売株式会社	(水戸市)

笠間市社会福祉協議会 会長感謝

善意銀行への寄付





要約筆記をする「若葉」の方々

第4回

笠間市社



**ボランティア・社会福祉活動の
関係者など400人余りが参加
司会、進行もボランティアの手で**

福祉大会は2年に一度開催され、今大会は合併後4回目の大会になります。

大会開催の趣旨は、多年にわたって社会福祉活動の発展に功労のあった方々を顕彰すること、及び福祉の更なる充実に向けた啓発を図る機会とすることです。

大会の進行はボランティアサークル「いずみ」の田中玉枝さん。それを手話サークルの方が手話通訳。そして要約筆記ボランティア「若葉」の方が、聞こえにくい人のために、発言の要約を文字に書いて壁面に投影。大会はこのようなボランティアの方々によって進められました。

式典に先立ち、歌手で元NHKアナウンサーの吉川精一氏の講演がありました。紅白歌合戦の総合司会を務めたことがあるとの事。巧みな話術に加えユーモアあり、笑いあり、そして涙あり。講演の

最後には得意の歌を2曲披露してくれました。

式典では、始めに社協会長の塩畑敏之氏が主催者挨拶。続いて永年福祉活動に携わってきた、40人と13団体が表彰を受けました。来賓挨拶の後、受賞者を代表して小堀晃氏が謝辞を述べ、最後に大会宣言を採択して閉会となりました。

講演 講師 吉川 精一氏 (歌手、元NHKアナウンサー)

演題 「支えあってまちづくり」

吉川氏はNHKを定年退職後、念願の歌手デビューを果たし、現在は、歌つき講演・歌つき司会で全国的に活躍している。自身が体験したことをユーモアたっぷりに、しかし時には感動的に語ってくれました。妻が入院した

大会宣言

本日、第4回となる本大会に参加した私たちは、「誰もが安心して暮らせる地域社会」の実現を目指し、次のことを実践していくことを宣言いたします。

1. 支部社協をはじめ各種の地域団体との連携と協働により、地域で支え合うまちづくりを推進します。
1. 市民の社会福祉に対する理解と関心を高め、ボランティア活動への積極的な参加を推進します。
1. 住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、保健・医療・福祉が連携・協働して地域福祉を推進します。

平成 25 年 3 月 10 日
第 4 回笠間市社会福祉大会



体験をもとに語る吉川さん

時、看護師が「患者を世話させてもらっている。そのことに感謝している」という言葉に感動した。

「日本を美しくする会」に参加してトイレ掃除をした。しかも素手で磨いた。良いことをした気分になるが、「し

てやった」ではなく、あくまでも「させていだいた」と思うべきではないか。

NHK福岡放送局で、のど自慢の司会をした時の感動的な場面を今でも思い起こすことがある。膝から下に障がいのある30歳の独身女性が、いざるようになら進み出た。

「瀬戸の花嫁」を最後まで歌いきった。そして、「有難うございました」と何度も礼を述べた。そこには公助（ディレクターの判断）、共助（大きな拍手）、そしてハンディーをおして多くの人前に登場して見事に歌いきった自分への有難うがあったのではないか。
(生天目)

くりを目指して

のできるこ

今年度から掲載しはじめた「ボランティアのできるこ」ですが、いかがだったでしょうか。登録しているサークルも89団体になり皆さん生き生きと活動しています。

本号は、子育てママの応援講座での手さげ袋づくりに参加した若いお母さんからの感想を寄せていただきました。シニア世代の地域デビューの教室では「誘う、誘われる事」が大事と学び、友部地区ふれあい電話交流会では、楽しいひとときの様子をお伝えします。

子育てママの応援講座

2月28日(木)手さげ袋
3月2日(土)シューズ袋
旭町 宮内 幸子



入園式が楽しみです



私は笠間市に引っ越してきたばかりですが、広報で見つけた「子育て応援講座・手さげ作り」に参加させていただきました。来年度幼稚園に入園する息子の手さげを作りました。ボランティアの方が手ぎわよく作るための手順を次々と教えてくださり「こちらを先に縫った方がきれいだよ」とか「こうすればもっと丈夫にできるよ」などと要所要所でアドバイスをいただけたの

で、自分ひとりで作るよりすんなりときれいに仕上げることができました。

家でいざ「やろう!!」と思ってもまずミシンの糸調子を合わせる所から始めるのも大変だし、子ども達がチョロチョロして危ないのでアイロンやミシンを使うのにも勇気がいります。

今回の講座ではミシン、ロックスシン、アイロンまで用意されており本当に作業がスムーズで、子連れの場合にはその子ども達を別室でボランティアの方達が預かってくださったので、安心して活動ができました。子どもがいるとなかなかミシンやアイロンはしにくいし、手作りしたくてもできないお母さんもらっしやると思います。なのでこういった託児付きでの講座はとても貴重であります。募集欄には託児があることは書かれていなかったのに参加したくても「子ども連れでは無



ボランティアさんと仲良く



理だろうな」と参加しなかった方も多いと思います。せっかくの素晴らしい講座なので、託児あり」ということをもっとアピールすればもっと多くの子育てママ達が参加できると思います。これからいろいろな講座が開かれることを楽しみにしています。ボランティアセンターの皆様ありがとうございます。

ちょっといい話

白湯の
作り方と効能

最近、若い人たちの間でも白湯(さゆ)が流行の兆しを見せています。

古来より息づく東洋医学や知恵と、誰でもすぐ出来る健康法なのが人気のようです。安倍総理もボトルに入れて飲んでいるのをニュースで見かけた方も多いのではないのでしょうか。

白湯の作り方はとても簡単です。①フタをしたやかんに水を入れ強火で沸かす。②沸騰後はフタを外す。③火を弱め10分ほど沸かし続けてできあがり。(※空焚きに注意してください)

飲む際は人肌より少し熱めの、すずって飲める程度が適温です。主な効能は
・血行が良くなり代謝が上がって毒素や老廃物を出してくれる。
・余分な水分を排出してむくみがとれる。

・ダイエット効果がある。
・便秘・肌荒れ・冷え症が改善する。
・寝起きが良くなる。

だまされたと思つてぜひお試しください。あまり飲み過ぎると身体から必要なものまで排泄してしまいますので注意が必要です。(入江)



ひもを使って健康体操

住みよいまちづ

ボランティア

**福祉サービス
チャレンジ教室に
参加して**

1月7日(木)「シニア世代の地域デビュー」の教室に参加しました。

第1部は講演会、第2部は食事とボランティアミニ体験という内容でした。

第1部の講演会は宇都宮大学教授廣瀬隆人氏の「かっこいいデビューの仕方教えます」という演題で、ボランティアには「誘う、誘われる事」が大事で、地域活動やボランティア学習会などは、信頼できる相手から誘われたら断らず一度はついていく、行ってみていやだったらもう行かなくて良いとの事を再確認しました。

第2部の食事はアイマスクをしてテーブル左側のお茶の紙コップ、そしてカバーのかかった弁当と割箸をボランティアさんの声の案内だけで、お茶を飲み弁当のご飯やおかずを少し食べてみました、大変苦労しました。初めての



廣瀬教授の講演

貴重な体験でした。

ボランティアミニ体験は腕の肘と足の膝の関節に動きにくいサポーターをし見えづらいうごうごうをあて、上半身のベストに4kgぐらいの錘を入れ、廊下の歩行、階段の昇り降りを経験しました。思った以上に大変だと思いました。最後はボランティア活動の事例を聞くもので

(1) 配食「さくら」

(笠間地区)

(2) レクリエーション「いわま」

(岩間地区)

(3) ハーモニー「せせらぎ」

(友部地区)

3つのサークルは各々日頃の生き生きとしたボランティア活動が良くわかり参考になりました。

(石郷岡)

お互い元気をもらって

友部地区
ふれあい電話交流会

去る12月14日、友部地区内の電話訪問活動をしているボランティアと電話利用者の皆さん47人で、福祉バスを使い「大洗かんぼの宿」へ出かけました。

ふれあい電話の活動はひとり暮らし高齢者の安否確認事業のひとつで、希望者にボランティアが電話による訪問活動をするものです。年に一度電話をかけているボランティアとの顔合わせを兼ね、市外へ出かけ「お食事交流会」を実施しています。

日頃は顔の見えない電話での会話ですが、この日は身近に顔を合わせてのしゃべりで話に花が咲きました。食事の後のレクリエーションは、ボランティアによるハーモニー演奏を聞いたり、全員で鳴子を持って調子を合わせて歌ったり、手話のできるボランティアから教わりながら、手話で歌うなど、時間の経つのも忘れる程でした。



ボランティアと利用者とのお食事交流会

参加者の中には90歳を越えた方や、間もなく90歳という方などもたくさんいましたが、皆さん元気な方ばかりです。「直接顔を合わせての交流はお互いを理解し合い、学ばせてもらうことがいっぱいです」とボランティア。「皆で食事したり歌を歌ったり、今日は本当に楽しかった」と参加者。

またの出会いを約束して帰路に着きました。

(ふれあい電話ボランティア)



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

だより



2月11日の支部社協活動研究集会で、北川根支部と大原支部の活動報告が行われました。第二部では、「孤独死ゼロ作戦の取り組み」と題して、松戸市常盤平団地自治会長の中沢卓実さんの講演がありました。「人間、一人では生きられない。隣近所の支え合いが大切。そのためにも、あいさつが重要だということを孤独死ゼロ作戦から学んだ」というお話がありました。

平成24年度 友部地区支部社協活動研究集会

2月11日(月) 於 笠間市友部社会福祉会館



北川根支部 菅谷支部長

北川根支部は、昭和54年4月に設立され、平成24年度の会員数は1311(法人会員含む)です。33の行政区からなり、幼児から高齢者すべての住民が安心して過ごせる地域づくりの充実と、市社協や各種福祉団体・学校等との連携を密に支部事業を運営します。

友部支所

北川根支部長
菅谷 亨

北川根支部
すべての住民が
安心できる地域
づくりを

- 地域福祉交流活動の推進
 - ①小・中学校との連携
各種行事、児童の見守活動、「子どもヘルパー派遣事業」へのサポート(平成24年度)、北子連代表者との懇談会と助成
 - ②地区別茶話会(随分附地区)
 - ③合同茶話会
 - ④地区別に3グループで実施
 - ④支部研修交流会、支部女性部研修交流会
- 高齢者福祉活動
 - ①高齢者の地域交流
グラウンドゴルフ(子どもヘルパー派遣事業で児童と交流)
 - ②在宅福祉
配食サービス
(原則、毎月第3土曜日)
- 広報活動
 - ①『北川根支部だより』
(A4版)の発行(年3回)
- その他
 - ①市社協事業への参加と協力
チャリティーサマーフェスタへの参加
 - ②各種講演会、研修会への参加
- 今後に向けて

意見交換会の実施、子どもの健全育成の手助け、ふれあい交流会の活性化、支部だよりの充実等を目指します。

友部支所

大原支部長
櫻井 政夫

大原支部
人とのつながり
大事に、地域交
流づくり

- 地域福祉交流活動の推進
 - ①小・中学校との連携
各種行事、児童の見守活動、「子どもヘルパー派遣事業」へのサポート(平成24年度)、北子連代表者との懇談会と助成
 - ②地区別茶話会(随分附地区)
 - ③合同茶話会
 - ④地区別に3グループで実施
 - ④支部研修交流会、支部女性部研修交流会
 - 高齢者福祉活動
 - ①高齢者の地域交流
グラウンドゴルフ(子どもヘルパー派遣事業で児童と交流)
 - ②在宅福祉
配食サービス
(原則、毎月第3土曜日)
 - 広報活動
 - ①『北川根支部だより』
(A4版)の発行(年3回)
 - その他
 - ①市社協事業への参加と協力
チャリティーサマーフェスタへの参加
 - ②各種講演会、研修会への参加
 - 今後に向けて

意見交換会の実施、子どもの健全育成の手助け、ふれあい交流会の活性化、支部だよりの充実等を目指します。
-
- 地域交流事業
 - ①三世代ふれあいの集い(大原小学校と協力)
 - ②支部ゴルフ大会(5回目)
 - 広報誌の発行
 - ①輪投げ大会(28回目)
 - ②友部公民館出前講座(救急救命法と熱中症対策)
 - ③グラウンドゴルフ大会(6回目)
 - ④ひとり暮らし高齢者に手づくり弁当配達(毎月1回女性部が地区公民館で調理)
 - ⑤ひとり暮らし高齢者とのいきいきサロン(大子町、リンゴ狩り)
 - ⑥高齢者施設見学(3班に分かれて実施)
 - ⑦敬老会(各地区で開催)
 - 各種団体への助成
 - ①支部研修
12月5日(水)「足利学校、佐野厄除け大師」
 - ②女性部研修
6月4日(月)「国立きぬがわ学院」
 - 各種団体への助成
 - ①支部研修
12月5日(水)「足利学校、佐野厄除け大師」
 - ②女性部研修
6月4日(月)「国立きぬがわ学院」



大原支部 櫻井支部長



無病息災—どんと焼き

支所

岩間支所

3世代
交流会を
開催

南部地区
社会福祉協議会

2月10日(日)、南部地区社会福祉協議会では、平公民館及び旧平分校グラウンドを会場にして交流会を開催しました。

交流会は「普通救命講習会・防災訓練・どんと焼き」の3部構成で「集まって楽しく学び仲良く遊ぼう」のスローガンにより、子どもからお年寄りまで130人が参加しました。

●普通救命講習会

第1部では、岩間消防署の教官から心肺蘇生、AEDの取り扱い、異物除去、大出血時の止血法等の救命講習を6班に分かれ、30人が実技・講習を交えて受講。講習終了後には普通救命講習修了証が交付されました。

●防災訓練

第2部は、グラウンドに各地区ごとに(平・中村・市野谷)

集合し開会式、岡野実行委員長のあいさつのあと、岩間消防署員から震災時の防災講話、油火災を想定した消火器の取り扱いと初期消火訓練、地元消防団による消火栓からの放水実演訓練がありました。煙体験では、身体をかがめて壁伝いに口と鼻を衣類で覆っての避難脱出方法を真剣に学び、体験しました。

●どんと焼き

第3部は、楽しみなどんと焼きです。正月飾り、しめ縄、お礼、書初め等を茅の小屋にくくりお焚き上げをしました。

点火式は3地区の子ども会代表者が実施。点火すると勢いよく燃え上がり、その火で体を温めると災難がおきないとか若返るといわれ、残り火で篠に挿した餅を焼いて食べ、無病息災・五穀豊穡を祈りました。

また、会場内ではおもてなしコーナーとして、あたたかい豚汁や飲み物も多数用意。平区自主防災会の資機材も展示して、大変盛況な3世代交流会となりました。(鬼澤)

笠間支所

笠間地区支部
社協運営委員会
視察研修

笠間地区支部
社協運営副委員長
長谷川 健司

平成25年2月22日(金)、午前8時50分笠間公民館を総勢28人を出発し、今回の研修会場である北茨城市の「マウントあかね」に着きました。研修のテーマ

『きたいばらき震災記』を編集して今、私が思うこと

講師の内藤洋子様の話では北茨城市の人口は約46,000人で、震災時避難した人は、1万人。避難所は20カ所あったそうです。

私は内藤様の話から、2つのポイントに気づきました。

一番は震災の現場写真で、今までテレビ・新聞等で報道されていたものより、より一層のリアル感、迫力があり、地震津波の恐ろしさを実感させられました。被災された方々の「震災の写真は見たくな

い」という言葉は同感で、同情にたえません。

二番は支援物資の問題です。被災者が必要とするものは刻一刻と変化し、昨日必要なものが今日は不必要となる。このような今回の教訓を整理して、時間と共に変わっていく要望に対処することが大切であると思いました。

今後、笠間市社会福祉協議会として市役所と連携をとりながら、対応策を取りまとめたいだきたいと思っています。

※内藤洋子様のプロフィール
・朝日新聞のレポーター
・北茨城市大津支部社協会計



笠間支部社協研修



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

善意の寄附を「ありがとう!!!」(善意銀行預託)

平成24年11月1日～平成25年2月27日まで(順不同・敬称略)

物 品			
使用済み切手多数	笠間地区民生委員児童委員協議会 岩間第一幼稚園、関本 馨 茨城県中央農業協同組合	ルッコラ(35g)×490P、エコキャップ多数 サラダ小松菜(100g)×100P	株式会社 ヴァレンシア
エコキャップ	イチカワユニオン岩間支部 いわま保育園、おしの保育園 くるす保育所、さくら幼稚園 サンエツ工業様、すみれ幼稚園 てらぎ保育所、めくみ保育園 茨城エコ・カルチャー 岩間第一小学校学童クラブ 茨城県立友部東特別支援学校小、中、高等部 池野辺子供会、大沢中3区、大沢保育園 土師地区社協、花水木、森田屋(入江勇太) 泰栄電器株式会社、青木 和子 佐藤 天音、船橋 成子、愛の里	ジャガイモ、切干大根 多数 野菜多数 白菜、葱、切干大根 高菜 シルバーカー2台、シャワーチェア1台、シャワーチェア、 ポータブルトイレ、エコキャップ、サランラップ、 使用済み切手多数、タオル多数、食品ほか	美留町 文男 打越 宏子 郡司 正夫 田山千代子 匿名
金 銭			
エコキャップ多数、ブルタブ多数	住ノ内、さくら、みずほ各ゲートボールチーム 18区花城会、坪来 征子	茨城県立笠間高等学校 美術科 棚山千歳会 下市毛なたねの会	¥20,750 ¥3,398 ¥15,384
ブルタブ多数	(有)伊藤石材工業、ボブクラブの会 國分 壽子	ニューサウンスオーケストラ 笠間エスシー協同組合	¥30,000 ¥945
エコキャップ、使用済み切手	ナブコシステム様、不二製油株関東工場 いなだ保育所、枝川 智恵子	茨城中央農業協同組合 茨城中央農業協同組合 花き部会 笠間市体育協会 スポーツダンス部	¥30,000 ¥20,000 ¥6,000
使用済みテレホンカード、使用済み切手多数	稲田小学校	興ダイナム 信賴の森	¥36,610
使用済みテレホンカード多数	ガールスカウト茨城県第30団	第72・73回月例杯チャリティーゴルフコンペ	¥10,000
エコキャップ、ブルタブ、使用済み切手多数	笠間市立岩間中学校生徒会	笠間市高齢者クラブ連合会岩間支部女性委員会	¥30,000
ハガキ100枚、80円切手20枚、10円切手3枚	ありんこ	友部読書会連合会	¥10,000
未使用タオル多数	第一生命労働組合、堀 玉乃	飯田自動車(有)	¥11,310
日用品、衣類、他	さくら幼稚園PTA	日本入れ歯リサイクル協会	¥26,672
玩具一式(五拾三点)	興ダイナム	語り部の会	¥2,000
雑巾多数	高齢者クラブ原宿会	佐々木ひさ	¥2,540
アクリルたわし多数	深谷 静枝	陽だまり	¥6,783
反物多数	水野 よし	宮本 伸子	¥10,000
車いす6台	水戸ヤクルト販売	長谷川たか	¥3,766
大根多数	花みどり	人見 孟	¥30,000
		匿名7件	¥181,076

全国社会福祉大会で表彰



11月16日に日比谷公会堂で全国社会福祉大会が開催され、永年にわたり社協評議員として社会福祉の発展に貢献された高久照美さんが社協・民間団体功労者として表彰されました。おめでとうございます。

今回の20号は、編集委員による取材文と一般からの寄稿文を合わせて、7件余の記事を載せました。笠間の記事は、市内の社会福祉活動は活発で、できるだけ沢山の事例を掲載したいと思いいろいろ努力しています。

3月10日、第4回笠間市社会福祉大会が開かれ、社会福祉活動の発展に功労のあった13団体と、40人の方が表彰されました。心よりお喜び申し上げます。(調)

編集後記

平成25年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00 (受付は 15:30 までをお願いします)

	笠間支所 (毎週水曜日)	友部支所 (毎週水曜日)	岩間支所 (毎週水曜日)
場所	旧笠間保健所	友部社会福祉会館	岩間保健センター
月	2日・9日・16日・23日・30日	3日・10日・17日・24日	4日・11日・18日・25日
4月			
5月	7日・14日・21日・28日	1日・8日・22日・29日	2日・9日・16日・23日・30日
6月	4日・11日・18日・25日	5日・12日・19日・26日	6日・13日・20日・27日
7月	2日・9日・16日・23日・30日	3日・10日・24日・31日	4日・11日・18日・25日

法律相談 ※予約が必要になります。お問い合わせください。

笠間支所	友部支所	岩間支所
第3金曜日 10:00~12:00	第1金曜日 10:00~12:00	第2金曜日 10:00~12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人 笠間市社会福祉協議会
友部支所 TEL0296-77-0730 FAX0296-78-3933
笠間支所 TEL0296-73-0084 FAX0296-72-3722
岩間支所 TEL0299-45-7889 FAX0299-45-6250